

2025年秋「渋谷再開発協会 秋季視察会」を10月23日、24日に開催

—「長崎まちづくりの事業」と昨年開業した「長崎スタジアムシティ」を見学、
長崎市役所スタッフによるまちづくり開発の事業について共有—

2025年10月25日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会(以下、渋谷再開発協会)は1964年の設立以来、地元(商店会、町会)、渋谷区、事業者(渋谷のまちづくりに関わる企業や団体)が三位一体となり、渋谷駅周辺地域の将来のまちづくりを検討しています。

この度、会員を対象とした「長崎視察会」を2025年10月23日～24日に開催しましたのでご報告致します。

今後も、渋谷のまちづくりに関連する他のまちづくり最新動向などを視察するため、開催してまいります。

<秋季視察会 内容>

1. 「長崎市再開発事業」への取り組み、長崎駅周辺を中心とした大規模再開発
2. 「長崎 優良建築物等整備事業」長崎スタジアムシティ(2024年10月14日開業)施設見学
3. 「復元整備事業」歴史的遺産「出島」の復元計画

●「長崎市再開発事業」への取り組み、長崎駅周辺を中心とした大規模再開発

長崎市役所へ訪問し、現在長崎市で取り組んでいる都市開発事業をご説明いただきました。

長崎市では、中心市街地の活性化を目指し、複数の再開発事業が進行中です。特に、長崎駅周辺では、駅ビルや駅前広場の整備、商業施設やホテル、オフィスなどが入る複合施設として整備が進められております。

また、長崎駅では、九州新幹線西九州ルート建設事業やJR長崎本線連続立体交差事業を契機に鉄道施設の充実も図り、駅周辺道路や駅前広場などの基盤整備と土地活用も図り、国際観光都市長崎にふさわしい都市づくりが実施されています。

●「長崎 優良建築物等整備事業」長崎スタジアムシティ施設見学。

2024年10月にオープンした、長崎で一番注目の大型複合施設を、現地スタッフの案内で見学して参りました。

「長崎スタジアムシティプロジェクト」

三菱重工長崎造船所幸町工場の再編による、跡地の活用事業者の応募選定をきっかけに、長崎の中心地に地元民間主導によるまちを活性化したいという想いに至り、ジャパネットグループが総力を挙げて立ち上げました。

2025年10月14日開業、1年目を迎えました。

「サッカースタジアムを核とした、365日楽しめる、日常と非日常が融合する一大複合都市」です。

- ・サッカースタジアム 約20,000席 プロサッカーチーム 「V・ファーレン長崎」 ※2017年創設
- ・アリーナ 約6,000席 プロバスケットチーム 「長崎ヴェルカ」 ※2020年創設

~~~~~  
●「復元整備事業」歴史的遺産「出島」の復元計画。

日本だけでなく、世界史においても貴重な歴史的遺産であり、その復元は市民はもちろん国内外の多くの人々が待ち望んでいます。

長崎市は、1951 年度から出島の整備計画に着手しており、史跡内の民有地の公有化や施設整備に取り組んでおり、そして 1996 年度からは短中期計画、長期計画を柱に完全復元をめざす本格的な復元整備事業を実施しています。

~~~~~  
■研修の終わりに

2日間の長崎視察会では、渋谷と同様に大きな変換期を迎えています都市再生の先進事例として長崎を視察することができました。まさに「長崎スタジアムシティ」と「長崎駅周辺再整備事業」は、民間主導と行政支援が連携した新たな都市開発モデルとして大変参考になる有意義な視察会となりました。

当協会では 2024 年 3 月に「渋谷計画 2040 -まちづかい戦略」を策定し、現在、新たな渋谷カルチャーを生み出す仕組みづくりや、歩いて楽しいまちとして回遊性を高める施策を検討しています。今後も、渋谷駅前と周辺の賑わい創出につながるウォーカブルな街並みを目指し、まちづくりを推進できればと存じます。

この度の視察会にご尽力いただきました、長崎市役所の皆さま、長崎スタジアムシティのスタッフ皆さまには大変お世話になり、心より御礼申し上げます。



集 合 写 真



アリーナ観覧席



駅前開発 現地踏査・説明

【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前進の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年には一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、「サステイナブルな歩いて楽しいまちづくり」を推進。現在、117 団体・企業が加盟して活動。